

## 第6学年1組 総合的な学習の時間 指導案

日時 令和3年10月13日(水) 5校時  
場所 6年1組教室 児童数 37名  
指導者 教諭 中山 俊介

### 1 単元名 西郷のまちの自慢を伝えよう

### 2 単元について

#### (1) 単元観(教材について)

本単元で題材とする「西郷のまち」は、水田と農作業のために整備されたクリークに囲まれており、「緑と水」の自然に溢れた地域である。西郷の尾崎地区には700年の歴史をもつ「尾崎人形」の工房がある。また、岩田地区では農業を学ぶベトナムの方と児童の交流が地区の行事で見られる等、伝統文化が受け継がれていると共に外国とのつながりも生じている。本単元では、これらの「西郷のまちの自慢」を伝えるためのPR動画作成という活動を仕組むことで、子ども達が相手(視聴者、協力者)を意識しながら、主体的に学習活動を進めていくことが期待できると考える。

児童は、「西郷のまちの自慢」について、地域探索や家族・市役所の方等へのインタビューを通して題材に積極的にかかわりながら探究活動を進めていく。その過程で、改めて「西郷地区」の現状や課題を見つめ直し、地域の人々の思いや行政の方針に触れ、「西郷のまちの自慢」を伝えるために私の課題を設定し、解決の方法を考えてPR動画を作成していく。このことは、地域にある「人・もの・こと」とのかかわりを通してふるさとに誇りをもつ児童の育成にもつながると考える。

#### (2) 児童観(児童の実態)

本学級の児童の総合的な学習の時間における学び方や学ぶ内容に対する意識は高く、単元ごとに実施しているアンケートでは、学級の9割の児童が「友達と協力して活動すること」や「課題を解決するために計画的に取り組むこと」など、全項目において肯定的な回答を示している。特に、「西郷のまちは好きですか」という質問に対しては、全児童が肯定的な回答を示しており、好きな理由としては「緑豊か」「クリークが多い」「地域の方が親切」「直売所がある」などが挙げられている。そして、総合的な学習の時間を通して「人と関わる力」「めあてを立てて取り組む力」「自分の考えをまとめる力」などの高まりを実感している児童も見られる。これまでの学習の中で、課題解決に向けグループで協力して情報を集めたり、伝える相手を意識して新聞やプレゼンにまとめたりすることができるようになってきている。しかし、新聞やプレゼンにまとめた方法を活用して探究課題に主体的に関わるまでには至っていない。そこで、本単元では、より主体的に探究課題と関わるように、一つ一つの活動の目的や単元のゴールイメージを児童の言葉から集約し、対話を通して共通理解を図っていきたい。

#### (3) 指導観(指導について)

本単元では、4段階の学習過程を設定している。

第1次では、西郷小の現状をSDGsの視点で捉え、SDGsについての理解を深めるとともに、プレゼンテーションを活用して、西郷小をよりよくするための提案ができるようにする。

第2次では、西郷小から西郷地区に視野を広げ、「西郷のまちの自慢」を集める活動を通して、西郷のまちを見つめ直すことができるようにする。その際、家庭でインタビューをしたり、市役所の方の話の聞いたりする機会を設定し、多面的な視点から地域活性化について検討できるようにしたい。

第3次では、「SDGsの目標達成を目指す2030年の西郷のまちの姿」を想像し、それを達成するために自分達にできることを考える中で、探究課題「西郷のまちの自慢を伝えよう」を設定していく。本時では、市のSDGsの取り組みや本校区の課題について伺った話と、人口ビジョンや市民の意向

調査などのデータを基に、10年後の西郷のまちの姿を想像しながら、「西郷のまちの自慢」の課題・期待・改善案を整理していく。市役所（柳川様）の話から気付いたことと、本校区の課題や市民の願いを客観的に示したデータに基づき検討していくことで、事象への認識を深め、さらなる探究的な学習へとつなげることができるようにする。また、Teams 内のエクセルをグループで共同編集することで、力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶことができるようにしたい。

第4次では、自分の活動を振り返るとともに、児童が作成したPR動画をホームページ上にアップすることを中心とした情報発信の場とする。他校の児童や保護者からコメントを頂いたり、地域行政を通して、社会に働きかけたりする経験をすることで、社会参画力を高めていきたい。また、全校児童にも西郷の町のために取り組んできたことを紹介し、この学習を引き継いでほしいという思いを伝える時間も設定していきたい。

### 3 単元の目標と評価規準、及びSDGs・3Cとの関連

#### (1) 単元の目標

SDGsの視点で未来の西郷地区について考えていくことを通して、西郷地区がよりよい町になるように自分たちでできることを考え、下級生や地域の方に伝えようとするすることができる。

#### (2) 単元の評価規準、及びSDGs・3Cとの関連

	本単の評価規準	SDGsとの関連	3Cとの関連
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分達が生活している中には、地域の課題解決や地域活性化に向けた取り組みがあり、様々な思いや願いをもって生活していることを理解している。</li> <li>②情報の比較・分類・関連付けを、探究の過程に応じた思考ツールを用いて実施している。</li> <li>③「持続可能な西郷の町を実現したい」という自らの意識の高まりは、その気持ちを持ちつづけ探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</li> </ul>		<p>1□【Communication】 交流を通し、他者の意見の価値に気づき、それを受け止めている。</p>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>①西郷地区の現状や自分の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって課題解決のための計画を立てている。</li> <li>②課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、どれが必要か自分で決めている。</li> <li>③課題解決に向けて「実現可能か」「意味があるか」等の視点で自らの取り組みの理由を見出している。</li> <li>④活動の過程や結果、期待する成果などを適切な方法を選択しながら分かりやすく整理して表現している。</li> </ul>	 	<p>2□【Care】 身の回りの小さな変化に気づき、すべきことを考え、自分から行動に移している。</p> <p>3□【Continuity】 自分の課題解決のために、試行錯誤をくり返しながら、最後までやり遂げることができる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>①積極的に地域に関わることで関心を深め、地域とのつながりを見出そうとしている。</li> <li>②学校や地域をSDGsの視点で見つめ直し、自らの課題を明確にして地域と関わろうとしている。</li> <li>③自分の学びを振り返り、評価・改善しながら課題解決に取り組もうとしている。</li> </ul>		

4 単元指導計画（全 40 時間）

小単元名・主な児童の反応	ねらい（○教師の手立て）	知	思	態	3C	評価方法
<p>1 「西郷小」をよりよくするために、自分のできることを考え行動しよう。（10）</p> <p><b>情報の収集</b></p> <p>去年の6年生がSDGsに関する活動をしていたね。</p> <p><b>課題の設定</b></p> <p>自分達にもできることはないだろうか。</p> <p><b>整理・分析</b></p> <p><b>情報の収集</b> <b>まとめ・表現</b></p> <p>私の作ったプレゼンを見て、節電を意識してくれる人が増えるといいな。</p>	<p>ねらい（○教師の手立て）</p> <p>「SDGs」って何だろう。</p> <p>○世界で行われているSDGsの具体的な取り組みを動画で紹介する。</p> <p>○校内の掲示物や分別ボックスなどの取り組みを探す際に、「SDGs」の視点を示す。</p> <p>○児童が見つけた校内のSDGsを表に整理し、取り組みの量や内容を視覚化する。</p> <p>○課題が似ている児童でグルーピングを行う。</p> <p>○アンケートやインタビューなど目的に応じた方法で情報収集する姿を価値付ける</p> <p>○児童の提案を基に、まとめ・表現の方法を複数設定し、選択できるようにする。</p> <p>○プレゼン発表会を企画し、課題に対しての取り組みを学級全体で共有する。</p> <p>○小単元を通しての振り返りを行い、達成感や次の学習への意欲を高める。</p>	①			3C	<p>・発言内容 →指導</p> <p>・ノート記述内容 →指導と記録</p>
<p>2 「SDGs」の視点で西郷のまちを見てみよう。（3）</p> <p><b>整理・分析</b> <b>情報の収集</b></p> <p>改めて考えると、知っているようで、実は知らないことがたくさんある</p> <p>市役所の方は西郷のまちについてどう考えているのかな。</p>	<p>ねらい（○教師の手立て）</p> <p>○自分が思う西郷地区のよさを学級で共有する活動を通して、その魅力やよさについて直接考えさせ、実感と意欲をもって活動に臨めるようにする。</p> <p>○家族と西郷の魅力について交流する機会を設け、様々な人の思いにも気付くことができるようにする。</p> <p>○講話後、持続可能な西郷のまちを実現することの意義や地域行政の思い等について考えさせることで、今後の活動の指標とする。</p>			②	3C	<p>・発言内容 →指導</p> <p>・ノート記述内容 →指導と記録</p> <p>・ワークシート →指導</p>

<p>3 西郷地区の魅力をもPRするためにできることを考えよう。(24)</p>	<p>○10年後の西郷地区の姿を想像することで、現在の課題について考えることができるようにする。</p>					
<p><b>整理・分析</b>      <b>課題の設定</b></p>	<p>○市役所の政策方針を踏まえ、発信していく自慢についての課題・期待・改善案を整理し、活動の方向性を示す。</p>	③		2□		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・行動</li> <li>・新聞記述内容</li> <li>・振り返り</li> <li>・自己評価</li> </ul>
<p>動画を制作するためには、農家の方に直接話を聞く時間が必要だね。</p>	<p>○伝えたい自慢が似通った児童同士をグループニングし、探究的な学びの実現に効果的な学習環境を整える。</p>	①	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・行動</li> <li>・振り返り</li> <li>・自己評価</li> </ul>
<p><b>情報の収集</b></p> <p>多くの情報を集めるために、アンケートをとろう。</p>	<p>○子供自身が主体的に活動できるように、PR動画の作成計画、関係機関への取材計画等、振り返りを基に立てる時間を確保する。</p>	②				<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> <li>・記述内容</li> </ul>
<p><b>整理・分析</b></p> <p>どの内容が課題の解決につながるか、もう一度確認してみよう。</p>	<p>○活動の方向性を意識させ、目的意識が明確な状態での情報収集を促す。</p>	②				
<p>○他の自治体のPR動画を紹介し、シナリオ作りの参考にできるようにする。</p>	<p>○伝えたい自慢について、ピラミッドチャートを用いて内容を精選する活動を通して、探究課題に立ち返る時間を設定する。</p>					
<p>○試作動画の反応を収集し、意見・感想・疑問・提案等に分類することで、今後の自分たちの活動に生かすことができるようにする。</p>	<p>○うまくいっていることと課題点を整理し、学習課題をよりよく解決して行くためのアイデアを出し合い、次の課題を設定していく。</p>	④	③			
<p><b>まとめ・表現</b></p>				3□		
<p>4 自分達のこれまでの活動を振り返ろう。(3)</p>	<p>○視聴者の感想や意見を集約し、活動の成果を図る指標とし、達成感や成就感を高める。</p>	③		2□	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言内容</li> <li>→指導</li> <li>・スライド</li> <li>→記録</li> <li>・振り返り</li> <li>→記録</li> </ul>
<p><b>整理・分析</b></p>	<p>○全体を振り返り成果と課題についてまとめると共に、自分たちに身に付いた力についても確認し合うことで、達成感や成就感をもたせるようにする。</p>					
<p><b>まとめ・表現</b></p>	<p>○成果と課題については5年生へ知らせ、次年度へ活動がにつながるようにする。</p> <p>○これまでの学習を生かして、これからできることを考えさせる。</p>			3□		

5 本時の指導 (14/40)

(1) 本時の目標

西郷のまちの自慢について発信していくために、協働して「西郷のまち自慢」の課題・期待・改善案を整理することができる。 【思考・判断・表現】

(2) 本時に位置付けた評価規準

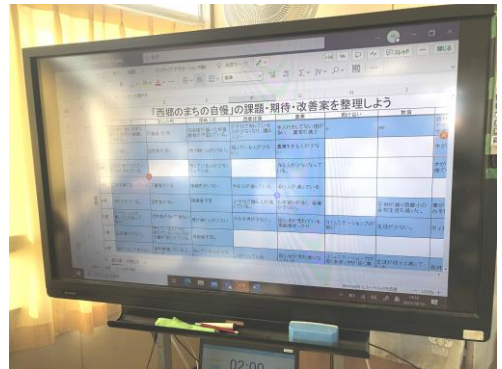
「西郷のまちの自慢」の課題・期待・改善案について、「柳川さんの話から気付いたこと」「根拠が明確であること」等の視点を踏まえて整理している。 【思考・判断・表現】

(3) 展開 (□…評価 Bおおむね達成 ●達成不十分な児童への手立て)

過程	学習活動	教師の働きかけと評価
つかむ	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○ 前時までの振り返りから、本時のめあてにつながる内容のものを紹介する。
	2 話し合いの視点を確認する。 ・柳川さんの話から気付いたこと ・根拠が明確であること	○ 話し合いの視点を意識することができるように、黒板に提示する。
探る	3 グループで「西郷のまちの自慢」の課題・期待・改善案を整理する。	○ 既習事項を基に「西郷のまちの自慢」の課題・期待・改善案について整理できるように、前時までの学習内容を整理した掲示資料を提示する。
	「西郷の町の自慢」の課題・期待・改善案を考えよう	
		クリーク      農業      地域のつながり
	課題	①雑草があふれて危険な場所がある      ①後継者が不足している      ①人口が減り、空き屋が増えている
		②外来種が多く生息している      ②荒れた田畑が見られる      ②コロナなどで行事が減っている
	期待	①除草することでより安全なまちへ      ①後継者の育成      ①空き家を活用した取り組み
		②固有種を保護したい      ②美しい田園風景を保ちたい      ②地域の行事を再開したい
	改善案	①クリーンデーの参加を促す      ①農業を学ぶ留学生の受け入れ      ①リフォームして販売する
		②バス釣り大会の開催      ②農業の機械化      ②子供クラブで行事を企画する。
	まとめる	4 本時の学習をまとめる。 ・めあてに対する達成状況、進捗状況の確認をする。 ・次の授業の方向性を決める。 ・振り返りをノートに書く。
		○ 次の授業の方向性を定めるために、めあての達成状況や進捗状況を児童に尋ね、全体で共有できるようにする。  ○ 本時の学習を見つめ直したり、次時の学習方向性を見据えたりすることができるように、振り返りの時間を十分に取る。

## 6 本時の考察

- ・マトリックスを用いたことで、話し合いの視点を意識しながら整理することができた。また、マトリックスが完成することで、課題が明らかになっていた。しかし、マトリックスを全て埋めることが児童の目的になっていた様子も見られた。「埋まらない部分が自分達にとっての本当の課題である」「埋まらない部分をどうしたら埋めることができるのか」など、思考ツールをより適切に活用していくための扱い方なども念頭に入れ指導していきたい。
- ・話し合いの前に評価規準を示したことで、子ども達が意識して活動することができていた。また、根拠の示し方の例を挙げたことで、根拠を基に発言する児童が増えた。評価規準を共有すること、教師が評価規準に基づき指導を行うことを、継続して取り組んでいきたい。
- ・タブレットの活用を継続したことで、タイピング入力等のスキルが高まっている。今後も、タブレットを使うことが目的とならないよう、児童の実態や活動内容から適切な方法を選択していきたい。
- ・児童の思考に添った単元計画になっていたのので、スムーズに展開できていた。しかし、本時ではマトリックスの観点から単元ものがたりとリンクしていない部分もあった。単元の途中で、単元ものがたりを再確認し、「どこまで委ねるのか」を適宜確認していきたい。



資料1 共同編集で作成した「マトリックス」



## 7 成果と課題

### ① 成果

- ・タブレットを活用し全校にアンケートを取るなど、現状を正しく把握しようとする児童の姿が見られた。「母数が増えることでアンケートの信ぴょう性が上がる」と記述する児童も見られ、根拠を基に自分の考えを表現できるようになってきている。
- ・区長さんや、市役所等、実際に外部に働きかけることで、「校外への活動は手間がかかること」「校内の活動より影響力が大きいこと」などを実感し、社会参画の意識が高まった。
- ・これまでの総合的な学習の時間の経験を生かし、「見学、調査、インタビュー、アンケート、書籍、インターネット」等から、目的に合った情報収集の方法を選択できるようになった。
- ・国語科で学習した「提案文の書き方」を活用して、市役所への提案文を作成することができた。「市役所の方に見てもらい、自分達の提案を実現させる」という目的意識をもつことで、既習事項を必然的に活用する姿が見られた。
- ・自己の学びを振り返る時間を適宜設定したことで、児童が学習を通して気付いたことや分かったことを客観的に見つめ直し、次の学習に生かそうとする意識の高まりが見られる。



⑩「総合的な学習の時間を通して自分にどんな力がつきましたか」	
1 学期	2 学期（1 学期と重複する内容は除く）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを書いたり話したりする力が付いた</li> <li>・友達との会話が増え仲良くなった</li> <li>・自分で自分のめあてを立てる力</li> <li>・勉強の仕方が増える</li> <li>・人と関わる力</li> <li>・友達と協力する力</li> <li>・田植えの仕方</li> <li>・自分の考えをまとめる力</li> <li>・パソコンを使う力</li> <li>・人形の作り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで考えゴールにたどり着くこと</li> <li>・課題を見つける力</li> <li>・時間配分を意識すること</li> <li>・友達と協力して一つのを創る力や、アクションを起こして良い方向に向かわせる力</li> <li>・難しいことにチャレンジする</li> <li>・西郷地区の良さを再確認できた</li> <li>・自分から意見を出す力</li> <li>・情報を集める力</li> <li>・文章構成能力</li> <li>・何かを実行する力</li> <li>・考え生かす力</li> <li>・一人で取り組む</li> </ul>

・児童アンケート⑩「総合的な学習の時間を通して自分にどんな力がつきましたか」の記述内容を見ると、「学習内容」に関する記述から「学習を通して得た力」についての記述が増えていた。このことは、単元を通して身に付けさせたい力を児童と共有したことや、カリキュラムマネジメントを意識し、教科を往還するような学習活動を適宜位置付けたことの成果だと考えられる。また、課題設定の段階で、まちの課題・期待・改善策を児童自身が整理し、必然性のある課題を設定することができたことが大きな要因だと考える。

## ② 課題

- ・行きあたりばったりにならないためには、単元ものがたりのゴールを意識させることが大切だと感じた。自慢を伝える対象を意識させることで、児童の資料活用や情報収集の方法が変わってくると思うので、ゴールを意識するための必然性を与える仕組み作りを丁寧に行っていききたい。
- ・行政としての話が、子どもレベルの自慢から少しずれていた。柳川さんとの打ち合わせや、講話後の内容確認など、コーディネーターとしての教師の役割を明確にもっておくべきだと感じた。
- ・学習を終えた時点で、⑨「みなさんが住んでいる西郷の町は好きですか」という質問に対し、「人口が少ないこと」や「お店が少ないこと」を課題と改めて実感している児童も見られた。このような児童のもつ課題を授業作りに生かしていききたい。

